

企画展

最新の生物相調査の成果

# 相模の海

まだまだ奥が深いぞ！

Sea of Sagami  
- treasures in biodiversity -  
Results of the latest biota surveys

2017 6/13 [火] - 9/3 [日]

国立科学博物館 (東京・上野公園) 地球館1階 オープンスペース

開館時間 / 午前9時～午後5時

※6月の金・土曜日は午後8時まで

※7・8・9月の金・土曜日は午後9時まで

※8月13日(日)～17日(木)・20日(日)は午後6時まで

※入館は各閉館時刻の30分前まで

休館日 / 6月19日(月)・26日(月)～30日(金)、  
7月3日(月)・10日(月)・18日(火)

入館料 / 一般・大学生620円(団体)310円

高校生以下および65歳以上無料

主催 / 国立科学博物館

協力 / 筑波大学下田臨海実験センター

東京大学海洋基礎生物学研究推進センター

マリンバイオ共同推進機構(JAMBIO)



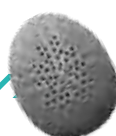
## 相模の海

まだまだ奥が深いぞ！

相模湾と相模灘をあわせた海域を『相模の海』とします。『相模の海』は、海流(黒潮と親潮)や相模トラフに向かって急峻で複雑な海底地形の影響などによって、熱帯・亜熱帯系の生物や冷水系の生物、そして、深海生物など多種多様な海産生物がすむ海域として世界的にも有名です。また、『相模の海』は世界的にも珍しく約150年前から現在まで生物相調査が行われてきた海域でもあります。当館も2001年～2005年に生物相調査を行っています。これら約150年にわたる生物相調査の成果が『相模の海』を世界的に有名にしているのです。

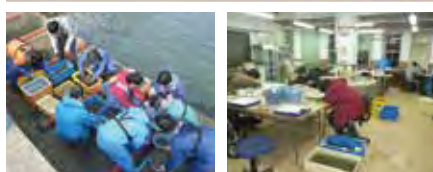


『相模の海』の海域



## 生物相調査に新たな展開 — JAMBIO 沿岸生物合同調査 —

2009年、筑波大学下田臨海実験センターと東京大学海洋基礎生物学研究推進センター(三崎臨海実験所を含む)の連携により、マリンバイオ共同推進機構(JAMBIO)が設立されました。その目的は、日本における海洋生物学研究者のネットワークを築くこと、海洋生物学分野の基礎研究を発展させることなどです。その一環として、全国から多くの研究者が参加するJAMBIO沿岸生物合同調査が行われています。この調査では、海底から動物を採集するドレッジ調査やプランクトン調査、潜水調査など様々な方法で標本を採集しています。



ドレッジ調査の様子



潜水調査の様子

## 新種50種発見！

JAMBIO沿岸生物合同調査によって、イソギンチャクやサンゴの仲間、多毛類、コケムシ類、ヒモムシ類、タナイス類(小型甲殻類)、ウニ類など様々な動物においてこれまでに約50種の新種が発見されています。



新種として発表された(あるいは予定の)動物たち

## そして、世界的珍種も...

JAMBIO沿岸生物合同調査において、最初の発見から何十年かぶりに再発見された貴重な動物や世界から数例しか発見されていないとても珍しい動物も採集しました。これらの動物については、現在、その研究成果の発表が待たれています。

## 交通ガイド

- JR  
「上野駅」公園口から徒歩5分
  - 東京メトロ 銀座線・日比谷線  
「上野駅」から徒歩10分
  - 京成電鉄  
「京成上野駅」から徒歩10分
- ※駐車場はありませんので、お車での来館はご遠慮ください。



国立科学博物館  
National Museum of Nature and Science

〒110-8718 東京都台東区上野公園 7-20  
TEL: 03-5777-8600 (ハローダイヤル)  
FAX: 03-5814-9898  
<http://www.kahaku.go.jp/>